

教科・学科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	2	学年	2
使用教科書	地理総合	発行者の番号・略称	183 第一	教科書の番号		地総	706
指導者名		副教材等	CONNECT地理総合(第一学習社)				

1 学習の到達目標

地理学習において主体的・対話的で深い学びを実現するために、社会的諸事象の地理的な見方・考え方に根ざした追究の視点とそれを活かして解決すべき課題を設定し、その課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化が進み国際理解の必要性が増している現代において、主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての重要な資質・能力を培う。

2 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む)

月	単元名	項目	学習のねらいと学習活動(指導内容)	評価の対象		
				知・技	思・判・表	主体的
4	[中間考査]	地図や地理情報システムと現代世界	・地図を持たない人々の生活を想像し、地図の有用性に気づくとともに、利用しやすい工夫が現在まで続けられていることを理解する。 ・地球上の位置をあらわすために緯度・経度が定められたこと、地軸の傾きによる季節変化と時差の存在を理解し、科書掲載の時差の計算のワークに積極的に取り組むことで、日本の標準時における諸外国の時間と生活のようすを想像することができる。 ・地理学習の基本的な技能として、地図の縮尺や方位に注意しながら、地図上の情報を読み解く有用性を理解する。 ・インターネットを使ってさまざまなウェブ地図にアクセスし、日常的に使われているGNSSやGISなど、新しい地図表現の役割を理解する。	・小テスト ・定期考査	・意見発表 ・定期考査	・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
		球面上の世界と地図				
5	[期末考査]	国家の結びつきとグローバル化する社会	・現代世界を構成する基本単位の国家とは何かを理解し、交通・通信の発達によって、生活、社会、産業、国家間の関係がどのように変化したかを時系列で理解する。 ・さまざまな情報手段を用いて、現在世界で起こっている国境・領土問題について調べるとともに、日本の領域と周辺国との領土問題にはどのようなものが存在するか、理解する。	・小テスト ・定期考査	・意見発表 ・定期考査	・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
		国際理解と国際協力	・人々の生活様式の差異を通して、地理的環境が及ぼす影響について学ぶ。 ・世界の自然環境は地域的に大きく異なることを、気候の面からとらえる。 ・世界の気候帯ごとに、どのような特徴があり、どのような生活が営まれているのかを学習する。	・小テスト ・定期考査	・意見発表 ・定期考査	・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
6	[期末考査]	「衣」から見る世界	・世界の特色ある生活文化にはどのようなものがあるか関心を持ち、地域固有の自然環境や歴史、風土に基づいて形成されたと同時に、グローバル化のもとで新たな変化が生じていることを学習する。	・小テスト ・定期考査	・意見発表 ・定期考査	・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
		「食」から見る世界				
7	[期末考査]	「住」から見る世界				
		持続可能な開発目標(SDGs)	・現在、直面している地球的課題にはどのようなものがあるかに注目し、それらは相互に関連し、地域によって現れ方が異なることを、人口問題、食料問題、居住・都市問題、資源・エネルギー問題、地球環境問題といった具体的な事例を通して理解する。			
8	[期末考査]	地球環境問題	・持続可能なライフスタイルの実現には、さまざまな認証制度を活用した消費者としての行動が重要であることを理解し、身近な認証制度を調べ、まとめることができる。 ・資源・エネルギー問題について、資源の限界性と偏在性を理解し、原子力発電を含む世界のエネルギー利用の変化と新エネルギー開発の必要性について考察する。 ・居住・都市問題について発展途上国ではスラム、先進国ではインナーシティ問題などが現れていることを理解する。	・小テスト ・定期考査	・意見発表 ・定期考査	・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
		技術革新と持続可能な産業化				
9	[期末考査]	限られた資源				
		エネルギー問題				
10	[期末考査]	都市・居住問題				
		地球温暖化問題	・地球環境問題のうち、酸性雨・地球温暖化・森林破壊と生物種の減少・砂漠化を例に学び、世界的な取り組みと地域に応じた取り組みが必要であることを理解する。			
11	[期末考査]	陸地の環境問題	・世界を大きく変動帯と安定大陸で分類し、多くの自然災害は変動帯で起きていることを理解する。 ・防災や減災のために地形図を活用するため、地形図の読図について理解する。 ・降水強度の大きい湿潤な日本の気候環境を把握し、地形に応じた防災・減災のあり方について理解を深める。 ・地形の状態に応じて暮らしてきた日本の村落・都市立地を理解し、地形変化による生活環境の変化が人々の暮らしにどのような影響をもたらしたか考察する。	・小テスト ・定期考査	・意見発表 ・定期考査	・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
		海洋の環境問題				
12	[期末考査]	持続可能な地域づくりと私たち				
		私たちができる災害への備え				
1		学習のまとめ	これまで学んだことや考えたことについて確認する。			

※年間指導計画は予定であり、変更する場合があります。

3 評価の観点と配点(年間)

知識・技能	世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	
思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や考察、構想したことを効果的に説明したりする力を養う。	
主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするその大切さについての自覚などを深める。	

教科・学科	地歴	科目	地理A	単位数	2	学年	3
使用教科書	高等学校 新地理A	発行者の番号・略称	46 帝国	46 帝国	教科書の番号	地A 308	
	新詳 高等地図					地図 310	
指導者名	副教材等		・図説地理資料 世界の諸地域NOW2023・高等学校新地理Aノート				

1 学習の到達目標

現代世界の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む)

月	単元名	項目	学習のねらいと学習活動(指導内容)	評価方法
4	第1部 世界の諸地域の姿と地球 的課題	1章地球儀や地図からとらえる現代世界 1節 地球上の位置と国家 2節 グローバル化が進む世界 2章人間生活を取り巻く環境 1節 人々の生活と地形 2節 人々の生活と気候 3節 人々の生活と産業・文化	・地球儀と世界地図の比較、略地図などを通して、地球表面上の大陸と海洋の形状や各国の位置関係、方位、時差及び日本の位置と領域などについて理解する。	・ワークノート点検 ・課題プリント ・授業態度 ・出席状況 ・定期考査
5			・生活圏、行動圏に見られる世界と結びつく諸事象の地域調査やその結果の地図化などを通して、身近な地域の国際化の進展や日本と世界との結びつきの様子に気づく。	
6			・世界の自然環境は、地域によって大きく異なり、地形・気候などによって違うことを理解する。それらが人間生活にどのように影響を与えているか考える。 ① 様々な地形と人間生活 ② 気候と人間生活 ③ 自然環境以外の生活文化に影響を与えるもの	
7				
8				
9	第1部 世界の諸地域の姿と地球 的課題	3章 世界の諸地域の生活・文化 1節 中国の生活文化 2節 韓国の生活・文化 3節 東南アジアの生活・文化 4節 南アジアの生活・文化 5節 中央アジア・西アジア・北アフリカの生活・文化 6節 サハラ以南のアフリカの生活・文化 7節 ヨーロッパの生活・文化 8節 ロシアの生活・文化 9節 アングロアメリカの生活・文化 10節 ラテンアメリカの生活・文化 11節 オーストラリアの生活・文化	・世界諸地域の生活・文化を地理的環境や民族性と関連付けて追究し、生活・文化を地理的に考察する視点や方法を身につけるとともに、異文化を理解し、尊重することが必要であることを身に付ける。 ① 中国の生活文化 ② 韓国の生活文化 ③ 東南アジアの伝統文化や生活の変化 ④ インドの暮らしや文化・宗教と生活の関わり・産業変化 ⑤ 西アジア諸国におけるイスラームと生活の関わりについて ⑥ 様々な民族と文化の様子と国が抱える問題について ⑦ 一体化が進むヨーロッパの実情・EU全体の産業の特徴 ⑧ 日本と関係が深いロシア・日本企業とロシア ⑨ アメリカの多文化社会と発展を遂げた産業・アグリビジネス企業の成長理由・先端技術産業の発達と影響 ⑩ ラテンアメリカにおける文化の多様性を先住民や歴史の観点からとらえる。 ⑪ オーストラリアの多文化社会・気候に適した産業	・ワークノート点検 ・課題プリント ・授業態度 ・出席状況 ・定期考査
10				
11				
12				

1	第2部 身近な地域の 課題	1章 身近にあるさまざまな地図 2章 日本の自然環境と防災 3章 身近な地域の課題と地域調査	・身近にある地図には一般図と主題図があることを理解する。 ・GISやGPSの仕組みについて理解し、それを活用することでどのような地図を作成することが可能になるかを理解する。 ・日本の地形や気候の特徴を捉え、その自然環境がどのような自然災害と結びつくか考える。 ・火山災害・地震災害・風水害にどのようなものがあるか理解し、災害に備えた取り組みや防災について考える。 ・身近な地域で発生しやすい災害を予測し、被害を軽減するために自分たちに何ができるか考える。	・ワークノート点検 ・課題プリント ・授業態度 ・出席状況 ・定期考査
2				
3				

3 評価の観点

評価は、次の3つの観点から行います。

思考・判断・表現	現代世界の地理的事象から課題を見出し、それを地域性を踏まえて多面的・多角的に考察すると共に、国際社会の変化を踏まえて公正に判断する。
知識・技能	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事項や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。
主体的に学習に取り組む態度	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究すると共に、国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。

教科・学科	公民	科目	公共	単位数	2	学年	1
使用教科書	公共	発行者の番号・略称	7 実教	教科書の番号	公共704		
指導者名	副教材等		クローズアップ公共2023(第一学習社)				

1 学習の到達目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身に付ける。

2 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのかを含む)

月	単元名	項目	学習のねらいと学習活動(指導内容)	評価の対象		
				知・技	思・判・表	主体的
4	第1部 公共の扉	【倫理】 第1章 社会を作る私たち	青年期の特徴について、心理学視点から自分の置かれている状況を理解する。他者と関わる中で、個性がどう形成されるか、欲求とどう向き合うか、考える。現代社会の雇用の現状と課題を把握し、どのように社会参加をするか、考える。身の回りの物と関連づけながら、日本の生活文化や伝統文化について理解する。世界の様々な宗教を理解し、宗教の持つ意味について考える。理想的な人間の生き方、科学的な思考、自由などについて、哲学者の考えを知る。個人の幸福と社会全体の幸福の関係性や、公正な社会について考える。人間の尊厳と平等、自由と責任について、考える。	・小テスト ・定期考査	・意見発表 ・定期考査	・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
		第2章 人間としてよく生きる				
5	[中間考査]	第3章 他者とともに生きる	社会における対立がどう調整されているのかを知る。民主政治の基本原則やその仕組みと課題を知る。 日本国憲法の成立背景や大日本帝国憲法との相違を考える。憲法の三大基本原則を知る。憲法で保障されている多様な人権について理解する。	・小テスト ・定期考査	・意見発表 ・定期考査	・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
		第4章 民主社会の倫理				
6	第2部 よりよい社会の形成に参加する私たち	【政治】 第5章 民主国家における基本原則	憲法9条と自衛隊、防衛問題などから、平和主義について考える。国会・内閣・裁判所の仕組みと特徴について理解する。マスメディアと世論の関わりについて考える。現代日本において国民の政治参加がどのように行われているかを理解する。	・小テスト ・定期考査	・意見発表 ・定期考査	・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
		1 現代の民主政治と日本国憲法				
7	特別編成授業	第1章 日本国憲法の基本的性格	憲法9条と自衛隊、防衛問題などから、平和主義について考える。国会・内閣・裁判所の仕組みと特徴について理解する。マスメディアと世論の関わりについて考える。現代日本において国民の政治参加がどのように行われているかを理解する。	・小テスト ・定期考査	・意見発表 ・定期考査	・ワークノート点検 ・授業態度
		第2章 日本の政治機構と政治参加				
9	[経済]	2 現代の経済社会と国民生活	経済の基礎的な仕組みと概念について理解する。景気・物価変動の原因を理解する。経済をはかる「ものさし」について理解する。財政政策や金融政策とはどのようなものかを理解する。日本経済が歴史的にどのようにして成長してきたのかを理解する。企業の役割について理解する。	・小テスト ・定期考査	・意見発表 ・定期考査	・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
		第1章 現代の経済社会				
10	[中間考査]	第2章 日本経済の特質と国民生活	戦後日本がどのように経済成長を実現してきたのかについて理解する。人口減少に対し、どのような対策がとられているのかについて理解する。日本の中小企業がどのような問題に直面しているのかについて理解する。日本の農業をとりまく問題や、消費者問題について理解する。労働者に認められている権利を知る。今日の労働環境や労働問題について理解する。	・小テスト ・定期考査	・意見発表 ・定期考査	・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
		第1章 現代の経済社会				
11	特別編成授業	持続可能な社会を目指して	持続可能な社会の実現のために人類が直面している課題を知る。どのようにして対応していけばよいかについて考える。	・小テスト ・定期考査	・意見発表 ・定期考査	・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
1	第3部 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	【国際】 3 国際社会と人類の課題	第二次世界大戦後、国際社会がどう展開してきたのかを理解する。世界平和を実現するための国際連合という組織の仕組みを知る。核兵器などの大量破壊兵器の現状について理解する。国際協力の現状を理解し、日本に期待されている役割を考える。グローバル化に伴い、モノや金がどのように世界を行き来しているかを知る。地域的な経済統合、自由貿易協定について、現在の状況を知る。発展途上国のために日本ができることを考える。	・小テスト ・定期考査	・意見発表 ・定期考査	・ワークノート点検 ・授業態度 ・課題プリント
		第1章 国際政治の動向と課題				
2	[期末考査]	第2章 国際経済の動向と課題				
3		学習のまとめ	これまでに学んだことや考えたことについて確認する。			

※年間指導計画は予定であり、変更する場合があります。

3 評価の観点と配点(年間)

知識・技能	現代の社会における重要な問題を探求するに際し、基本的な内容を理解し、有用な情報を適切に収集・選択し、効果的に活用することができたかどうか。	
思考・判断・表現	現代の社会における重要な問題から課題を見だし、社会的事象の本質を多面的・多角的に考察し、社会の変化や多様な考え方を踏まえ公正に判断し、表現できたかどうか。	
主体的に学習に取り組む態度	現代の社会における重要な問題に対する関心を高め、意欲的に学習すると共に、社会的事象を考察する態度や、平和で民主的な社会の実現のために社会に参加・協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての自覚を深めようとしていたかどうか。	